

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号:C14411-M00221-24

製品名:過酸化水素水 30% 473ml

作成日 2014 年 8 月 7 日

改訂日 2021 年 12 月 22 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : 過酸化水素水 30% 473ml
 カタログ No : 14411
 品目コード : HACH0238
 供給者の会社名称, 住所及び電話番号
 東亜ディーケーケー株式会社
 東京都新宿区高田馬場 1-29-10
 担当部門 : 水質技術部 HACH 技術課
 04-2957-6152
 F A X 番号 : 04-2957-9906

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 酸化性液体 区分 2
 金属腐食性化学品 区分 1
 健康有害性 急性毒性（経口） 区分 4
 急性毒性（経皮） 区分 3
 急性毒性（吸入：蒸気） 区分 3
 急性毒性（吸入：粉じん、ミスト） 区分 2
 皮膚腐食性／刺激性 区分 1
 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分 1
 発がん性 区分 2
 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分 1（呼吸器）
 特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分 1（呼吸器）
 環境有害性 水生環境有害性 短期（急性） 区分 1

（上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。）

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険有害性情報

危険

火災助長のおそれ：酸化性物質
 金属腐食のおそれ
 飲み込むと有害
 皮膚に接触した場合や吸入した場合は有毒
 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
 吸入すると生命に危険
 発がんのおそれの疑い
 呼吸器の障害
 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害
 水生生物に非常に強い毒性

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号:C14411-M00221-24

製品名:過酸化水素水 30% 473ml

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
衣類及び可燃物から遠ざけること。
他の容器に移し替えないこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
環境への放出を避けること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
呼吸用保護具を着用すること。

応急措置

飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚又は髪に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
直ちに医師に連絡すること。
医師に連絡すること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
特別な処置が緊急に必要である。
特別な処置が必要である。（詳細は、SDS4 項：応急措置を参照のこと）。
口をすすぐこと。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。
物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。
漏出物を回収すること。
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。
耐腐食性／耐腐食性内張りのある耐腐食性容器に保管すること。
地方自治体の規制及び環境規制に従って処分する。または都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。

保管

廃棄

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号: C14411-M00221-24

製品名: 過酸化水素水 30% 473ml

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 化学物質 (水溶液)

化学名又は一般名 過酸化水素

含有量 30.0-40.0%

化学式又は構造式 H_2O_2

官報公示整理番号

化審法 1-419

安衛法 —

CAS No. 7722-84-1

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移すこと。症状が出た場合は直ちに医師の診断、手当てを受けること。ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 衣服に付着した場合、直ちに多量の水で汚染された衣服と皮膚を洗ってから、衣服を脱ぐこと。皮膚に付着した場合、直ちに多量の水と石鹸で15分間以上良く洗うこと。再使用する際には洗濯をすること。刺激や炎症が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 直ちに大量の水で、まぶたの下まで15分間以上良く洗うこと。眼を大きく見開いて洗浄すること。患部をこすらないこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 水で口をすすいだ後、大量の水を飲ませること。意識がない場合は口から何も与えないこと。無理に吐かせないこと。医師に連絡すること。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 灼熱感、発赤、失明の恐れあり、涙目の恐れあり
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水で消火すること。粉末消火剤や泡消火剤は使用しないこと。二酸化炭素やハロンは限定的に火災を抑制する。十分な距離をとって散水すること。安全に対処できるならば火災区域から容器を移動させること。完全に消火するまで容器を水で冷却し続けること。
- 使ってはならない消火剤 : 粉末消火剤、泡消火剤
- 火災時の特有の危険有害性 : 本製品は火中にて燃焼を促進する。加熱や燃焼により爆発的に分解する恐れがある。紙、油、衣類などの可燃物に着火する。漏出物が火災や爆発を引き起こす恐れがある。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、自給式呼吸器および防護服を着用すること。熱にさらされた貨物や車両は動かさないこと。安全に対処できるならば火災区域から容器を移動させること。十分な距離をとって、無人注水管やモニター付きノズルなどで散水すること。火災に巻き込まれたタンクからは離れること。大規模火災で無人注水管やモニター付きノズルが使用できない場合は、鎮火するまで避難すること。

東亜ディーケーケー(株)
 SDS 番号: C14411-M00221-24
 製品名: 過酸化水素水 30% 473ml

6. 漏出時の措置

- | | |
|---------------------------|---|
| 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置 | : 適切な換気を行うこと。眼、皮膚、衣類との接触を避けること。
漏出区域から離れた風上の安全な場所に退避させること。すべての発火源（火、炎、火花など）を取り除くこと。漏出物や破損した容器に触れる際は、適切な保護具を着用すること。安全に対処できるならば漏えいを止めること。指定された個人用保護具を使用すること。漏出物から可燃物（木材、紙、油など）を隔離すること。容器に水を入れないこと。 |
| 環境に対する注意事項 | : 水路、下水、地下、または密閉区域への侵入を防ぐこと。地表水や汚水排出系への流出を防ぐこと。安全に対処できるならば漏えいを止めること。排出系への流出を防ぐこと。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | : 防壁を設け、漏出液を集めること。不活性剤（土や砂など）で流出物を吸収し、廃棄容器に入れること。安全に対処できるならば漏えいを止めること。きれいなスコップで乾いた清浄な容器に本製品を入れ蓋をして、漏出区域から移動させること。漏出場所は大量の水で洗い流すこと。本製品を排水系に流さないこと。 |
| 二次災害の防止策 | : 漏出物と漏出場所は環境規制に従い浄化すること。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

- | | |
|-----------|---|
| 取扱い | : 指定された個人用保護具を使用すること。眼、皮膚、衣類との接触を避けること。熱、熱源、火花、裸火及びその他の発火源から遠ざけること。禁煙。飲食や喫煙をしないこと。汚染された衣類や靴を脱ぐこと。局所換気装置を使用すること。本製品を使用する際は、一般的な労働安全衛生上の規則に従うこと。汚染された衣類や手袋などをすべて脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。煙霧やミスト、蒸気を吸入しないこと。換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。 |
| 技術的対策 | : データなし |
| 安全取扱注意事項 | : データなし |
| 接触回避 | : データなし |
| 保管 | : 容器は密栓し、涼しく乾燥した換気の良い場所に保管すること。適切なラベルの貼付された容器に保管すること。可燃性物質から隔離して保管すること。湿気から保護すること。施錠して保管すること。子供の手の届かないところに保管すること。他の物質から離して保管すること。地方自治体の規制及び環境規制に従って保管すること。 |
| 安全な保管条件 | : データなし |
| 安全な容器包装材料 | : データなし |

8. ばく露防止及び保護措置

- | | |
|-----------|---|
| 許容濃度 | : OSHA PEL ;
過酸化水素: TWA 1ppm, TWA 1.4mg/m ³ , (vacated) TWA 1ppm,
(vacated) TWA 1.4mg/m ³
ACGIH TLV ;
過酸化水素: TWA 1ppm |
| 設備対策 | : 安全シャワー、洗眼設備、換気設備 |
| 保護具 | : |
| 呼吸用保護具 | : 適切な換気 |
| 手の保護具 | : 保護手袋 |
| 眼、顔面の保護具 | : ゴーグル型保護眼鏡 |
| 皮膚及び身体保護具 | : 適切な保護衣（長袖）、耐薬品性白衣、耐火保護衣 |

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号:C14411-M00221-24

製品名:過酸化水素水 30% 473ml

- 一般的な衛生上の注意事項 : この製品を取り扱う際は、飲食や喫煙をしないこと。
汚染された衣類や手袋などをすべて脱ぎ、再使用する場合には洗濯をし、内側までよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
装置や作業場、作業服は定期的に清掃すること。作業を中断する場合や使用後は直ちに手をよく洗うこと。適切な保護具を着用すること。眼、皮膚、衣類への接触を避けること。
- 環境ばく露対策 : 下水系、地面、及びあらゆる水域への流出を防ぐこと。大量に漏出した場合は地方自治体へ通知のこと。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体
色 : 無色
臭い : 刺激臭
分子量 : 34.01g/mol
融点／凝固点 : -28℃; -18℉
沸点又は初留点及び沸騰範囲 : 106℃; 223℉
可燃性 : データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : データなし
引火点 : データなし
自然発火温度 : データなし
分解温度 : データなし
pH : 3.3
動粘性率 : データなし
溶解度 : 水 : 溶解する (>1000mg/L, 25℃; 77℉)
酸 : 溶解する (>1000mg/L, 25℃; 77℉)
エチルアルコール : 溶解する (>1000mg/L, 25℃; 77℉)
エーテル : 溶解する (>1000mg/L, 25℃; 77℉)
n-オクタノール／水分配係数 (log 値) : データなし
蒸気圧 : 3.07kPa/ 23.027mmHg (30℃; 86℉)
密度及び／又は相対密度 : 1.11 (水=1、空気=1)
相対ガス密度 : 蒸気密度 : 1.2
粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

- 反応性 : 酸化性物質
化学的安定性 : 火災や爆発を起こす恐れがある。強酸化剤。
危険有害反応可能性 : 通常使用下にて特になし
避けるべき条件 : 熱、炎、火花、不適合物質、長期間の空気や湿気へのばく露
混触危険物質 : 有機物質、可燃性物質、炭化水素、強酸化剤、強酸類、強塩基類
危険有害な分解生成物 : 熱分解により刺激性で有毒性のガスや蒸気を発生することがある。

11. 有害性情報

- 急性毒性
(経口) : 急性毒性推定値 LD50=805mg/kg
(経皮) : 急性毒性推定値 LD50=690mg/kg
(吸入 : 蒸気) : 急性毒性推定値 LC50=1438ppm
(吸入 : 粉じん、ミスト) : 急性毒性推定値 LC50=0.46mg/L

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号:C14411-M00221-24

製品名:過酸化水素水 30% 473ml

皮膚腐食性／刺激性	:	混合物の皮膚腐食性／刺激性成分濃度により区分1とした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	:	混合物の眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性成分濃度により区分1とした。
呼吸器感作性	:	データなし
又は皮膚感作性	:	
生殖細胞変異原性	:	データなし
発がん性	:	ACGIH A3（確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明）、IARC グループ3（作用因子はヒト発がん性については分類することができない）
生殖毒性	:	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	:	混合物の特定標的臓器毒性（単回ばく露）成分濃度により区分1（呼吸器）とした。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	:	混合物の特定標的臓器毒性（反復ばく露）成分濃度により区分1（呼吸器）とした。
誤えん有害性	:	データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性	:	過酸化水素水：藻類 72 時間 EC50=0.85mg/L 藻類 72 時間 NOEC=0.1mg/L 甲殻類 24 時間 EC50=2.3mg/L
残留性・分解性	:	データなし
生体蓄積性	:	データなし
土壤中の移動性	:	データなし
オゾン層への有害性	:	データなし

1 3. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物	:	地方自治体の規制及び環境規制に従って処分する。または都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器・包装	:	容器は再利用しないこと。

1 4. 輸送上の注意

国内規制	:	
陸上規制情報	:	毒物及び劇物取締法に従う。
海上規制情報	:	船舶安全法及び港則法に従う。
航空規制情報	:	航空法に従う。
国連番号	:	2014
品名（国連輸送名）	:	過酸化水素（水溶液）
国連分類	:	クラス 5.1（酸化性物質）
副次危険	:	8
容器等級	:	II
緊急時応急措置指針番号	:	140
輸送の特定の安全対策及び条約	:	輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に 行なう。

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号:C14411-M00221-24

製品名:過酸化水素水 30% 473ml

国際規制

運輸規制情報

Proper Shipping Name : Hydrogen Peroxide, Aqueous Solution
(30% Peroxide)
Hazard Class : 5.1
Subsidiary Risk : 8
ID Number : UN2014
Packing Group : II

航空規制情報

Proper Shipping Name : Hydrogen Peroxide, Aqueous Solution
(30% Peroxide)
Hazard Class : 5.1
Subsidiary Risk : 8
ID Number : UN2014
Packing Group : II

海上規制情報

Proper Shipping Name : Hydrogen Peroxide, Aqueous Solution
(30% Peroxide)
Hazard Class : 5.1
Subsidiary Risk : 8
ID Number : UN2014
Packing Group : II

その他の情報

本製品はケミカル・キットの一部として出荷されることがある。ケミカル・キットは以下のとおり分類される。国連分類：クラス 9（その他の危険物質）、国連番号：3316

15. 適用法令

化学物質管理促進法 : 該当せず
(P R T R)
労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 2 号別表第 9）
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号別表第 9）
過酸化水素（政令番号：126）
危険物・酸化性の物（施行令別表第 1 第 3 号）その他の無機過酸化物
毒物及び劇物取締法 : 劇物（指定令第 2 条）過酸化水素を含有する製剤
化審法 : 優先評価化学物質（法第 2 条第 5 項）過酸化水素
水質汚濁防止法 : 指定物質（法第 2 条第 4 項、施行令第 3 条の 3）過酸化水素
海洋汚染防止法 : 有害液体物質（Y 類物質）（施行令別表第 1）過酸化水素溶液
港則法 : その他の危険物・酸化性物質類（酸化性物質）（法第 21 条第 2 項、規則第 12 条、危険物の種類を定める告示別表）過酸化水素（水溶液）
航空法 : 酸化性物質類・酸化性物質（施行規則第 194 条危険物告示別表第 1）
過酸化水素（水溶液）
船舶安全法 : 酸化性物質類・酸化性物質（危規則第 3 条危険物告示別表第 1）
過酸化水素（水溶液）

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号:C14411-M00221-24

製品名:過酸化水素水 30% 473ml

16. その他の情報

引用文献等

- ① Hach Company SDS No.M00221 (Hydrogen Peroxide Solution 30% ACS Grade)
- ② 化学物質総合検索システム、(独)製品評価技術基盤機構
- ③ ezCRIC 日本ケミカルデータベース(株)
- ④ JIS Z7252-2019 および Z7253-2019

記載内容の取扱い

この安全データシートは各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意してください。

また含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項は通常の実用性を対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。

その他

GHS分類は JIS Z 7252 に基づくものであり、HACH社のGHS分類とは異なる場合があります。取扱いの際は、この安全データシートをご参照ください。